



天草

市政だより

日本の宝島「天草」の創造を目ざして！

平成22年

9.1

No.106



- 九州新幹線の全線開業に向けて… 2～5
- 行政改革の取り組み状況 …… 6～9
- 10月1日は国政調査 …… 10～11
- 天草ほんどハイヤ祭り …… 12～13
- 宝島のわだい …… 14～17
- 楽しかった夏の思い出 …… 18～19
- みんなの広場など …… 20～23

リズムにあわせて“ハイヤ！ハイヤ！”

7月31日から8月8日にかけて盛大に開催された「天草ほんどハイヤ祭り」。7月31日に本渡地区の中央・上町通り～船之尾通りを周回コースにして開かれた“天草子ハイヤ”では、市内16の保育園・幼稚園の園児たちが、趣向を凝らしたかわいいお祭り衣装に身を包み、ハイヤのリズムにあわせてオリジナルの踊りを披露。沿道には保護者など多くの見物客が詰めかけ、大いににぎわいました（12・13ページに関連写真）。

～ピーナツ豆腐～



材料（約4～6人分）

- 生の落花生（ピーナツ） …… 1カップ
- サツマイモのでんぷん（かたくり粉、くず粉でもよい） …… 1カップ
- 水 …… 6～6.5カップ

※砂糖みそや、梅みそなどで食べる。

作り方

- ①ピーナツを一晩水につけ、薄皮をむく。
- ②①に、水を加えてミキサーにかけ、さらしの袋でこす。
- ③ピーナツの絞り汁を6～6.5カップ鍋に入れ、でんぷんを加える。
- ④木しゃもじで、とろんとなるまで中火でよく混ぜながら加熱する。
- ⑤火を弱めて30分以上練る。練れば練るほど、やわらかい豆腐ができる。
- ⑥流し缶などに移して冷まし、固まってから切り分ける。

提供：市食生活改善推進員協議会

現代に息づく **歴史の証**

天草コレジヨ館開館20周年・
 天草キリシタン館オープン記念シリーズ③

天草・島原の乱①

天草がキリシタン大名・小西行長の支配地になると、キリスト教の信者も増えていきました。しかし、行長は関ヶ原の合戦で敗れ、天草は肥前唐津の寺沢志摩守広高の領地となります。その後、江戸幕府が慶長18（1614）年にキリシタン禁教令を出すと、広高はキリスト教信者へ拷問を行うなど、弾圧を強化します。このような中、寛永10（1633）年以降の凶作で、天草や島原の人々の生活はますます苦しくなったことから、一揆への機運が高まり、ついに寛永14（1637）年10月、天草四郎時貞を旗頭に据え「天草・島原の乱」が勃発します。現在の有明町大島子で初戦を迎え



▲原城攻防戦を描いた島原陣図屏風（複製の一部）（天草キリシタン館所蔵）

たこの戦いは、一揆勢が優勢に進め、12月には3万7,000人が島原の原城にたてこもります。一方、幕府軍は12万5,000人の大軍で城を包圍し兵糧攻めを展開。翌年の2月27・28日、幕府軍の総攻撃で一揆勢は全滅し、天草・島原の乱は終結しました。

「煙めく人たち」の取材でおうかがいした松本さんご自宅。上津浦川の河口沿いにあり、海や川の流れが運んでくる風が、開放しの窓を吹き抜けてとても心地良かったです。そして、その風に揺れる風鈴の音とセミの声。しばし仕事を忘れ、日本の夏を堪能してしまいました。【素】

先月の健康診断で、昨年よりも体重が増加していました。最近お腹まわりが気になっていたので、こんなに体重が増えていたとは…。そこで、日ごろのぐうたらな生活をあらためて、ここに「減量大作戦」を宣言しようと思います。作戦成功のあかつきには、皆さんにご報告します！【海】

盆に毎年恒例の「同級生ソフボール大会」が開催され、隣の行事ですが毎年参加しています。ただ、私たちのチームが最高齢、シヨックでした。実力と体力と髪の毛は無いのに、やかましさとでかい態度と打ち上げでの元気だけはある始末。熊に会えなかったのは残念ですが。【凡】

編集後記
 あとせき

九州新幹線の全線開業に向けて



平成23年3月、「九州新幹線」の全線開業に向けて、天草への誘客を促進するため、さなざまな取り組みを実施します。

『日本の宝島』が持つ観光資源を十分にいかしながら、さらに魅力ある観光地として発展させ交流人口を増やすことで、天草地域の活性化を目指すものです。今号では、その概要についてお知らせします。



九州新幹線全線開業を 天草浮揚のチャンスに

天草市長 安田公寛

平成23年春、いよいよ待ちに待った九州新幹線鹿児島ルートが全線開業します。熊本はもちろん九州全体の経済に大きなインパクトを与えるものと大きな期待が寄せられていますが、新幹線の沿線と沿線外の地域間競争や沿線地域による都市間競争にこれまで以上に拍車がかかるものと思われます。

熊本が観光客を含めた人や物流の単なる通過点になってしまうのか、あるいは九州の中心として存在感を保てるかどうかは、熊本を代表する観光地である海の天草と山の阿蘇、この大きな横軸が「熊本観光の魅力」を高められるかどうか、鍵を握っていると言っても過言ではないと思います。

そのためには、観光客の皆さんの目線に立った導線・ニーズ等をしっかり念頭において、交通網を含む観光基盤の整備や豊かな地域資源を活用した受け皿づくり、地域が一体となった人情味あふれるおもてなしなど、受け入れ態勢の整備を充実し、九州地域以外へ天草のさまざまな魅力や情報を発信していかなければなりません。

この九州新幹線全線開業は、九州経済の活性化を担うものとして大きな期待が寄せられておりますので、島民一丸となって、天草浮揚の一大チャンスに変えていきましょう。

1 交流人口を呼び込む導線の整備

①天草島内周遊チケット等の発行事業

- 天草ぐるっ〜と周遊チケット…「天草エアラン」の航空券+観光周遊バスの乗車券+観光施設の入場券+温泉入浴券」セットチケットの販売を拡大。
- 天草満喫チケット…「観光施設の入場券+温泉入浴券」をセットにしたチケットの販売。

②天草宝島観光DVD製作事業

- 天草地域が保有する魅力的な観光素材「自然景観」や「イルカウォッチング」「南蛮文化」「イベント」「食」「温泉」などを組み合わせた観光PR用DVDを製作し、JRや船(天草宝島ライン等)、バスなど、天草へ移動中の空き時間対策として車内や船内で放送してもらうほか、旅行エージェントへの配布や観光イベントでの放映、インターネットを活用した動画配信など、観光客誘致のツールとしても活用。

③島内周遊バス「天草ぐるっ〜と周遊バス」の運行

- 公共交通機関を使って訪れた観光客が、容易に

各観光地にアクセスできるようバスや船(天草宝島ライン)との接続を考慮した島内周遊バス「天草ぐるっ〜と周遊バス」を運行(平成21年10月から、3コース、土・日曜日・祝日)しているが、新幹線全線開業によりその需要拡大が見込まれるため、本年10月からは、毎日運行を実施する。また、周遊バスに同乗する観光バスガイドの養成を行う。

④本渡市街地循環バス「のってみゅうかー」の運行

- 市民の生活の足と、観光客の二次交通を確保するため、昨年10月から市中心街である本渡地域を周遊する循環バス「のってみゅうかー」の運行を開始。9月からコースを延伸(南部エリアの追加)する。

⑤出水天草間交通アクセス導入等事業

- 鹿児島県の出水駅〜蔵之元港間のシャトルバスの運行や牛深港を起点とした島内周遊バスの運行により、天草地域の観光振興と日常生活における移動の利便性向上を図る。

⑥船の旅“天草”構築事業

- 鉄道(JR三角線)と船(天草宝島ライン)を組み合わせた全国的にもまれな移動手段により、移動時間を短縮し旅行者が楽しめるようにすることで、天草地域への観光客を増大させる。

⑦観光タクシーの運行

- 観光客の多様なニーズに対応できる二次交通網として、天草の観光地を巡る観光タクシープランを設定する。

⑧日本風景街道登録推進(天草西海岸サンセット・イルカライン)

- 「天草西海岸サンセット・イルカライン」の日本風景街道への登録を推進し、観光客が移動中でも楽しめる導線を確保する。

※日本風景街道=風景街道地方協議会が「多様な主体による協働のもと、景観、自然、歴史、文化等の地域資源を生かした質の高い風景を形成し、もって、地域活性化、観光振興に寄与する」ことを目的に認定・登録。全国で110カ所(九州では9カ所)が登録されており、県では

九州横断道「阿蘇くまもと路」のみ。

⑨JR三角線を活用したPR

- JR三角線の高速化を要望していくとともに、JR三角線をPRツールの一つと考え、「ラッピングトレイン」を運行していく。

⑩三角線における「菜の花列車(仮称)」運行事業

- 本市が取り組む「菜の花プロジェクト(廃食用油を回収しBDF[バイオディーゼル燃料]を製造・使用する)」を市内外に広く浸透させるため、JR三角線で運行される「菜の花列車(仮称)」への利活用により、「環境にやさしい天草」の取り組みをアピールするとともに、JR三角線の利用促進による天草への交流人口増にもつなげていく。

⑪観光案内看板の整備

- 本市(天草地域)を訪れる観光客の利便性向上と天草観光のイメージアップを図るため、目的地へ円滑に移動できる「観光案内看板」を整備する。

2 豊かな地域資源を活用した受け皿づくり

①天草地域資源開発事業

●郷土愛の醸成と地域経済の活性化を図るため、「天草ツーリズムの確立（地域資源の確立〔露出〕）」「天草ならではの“食”の提供（地域経済への波及効果確立）」「まち歩きルートの確立（受け入れ態勢の整備）」を行い、多くの地域が望む“コミュニティビジネスの実働”と“交流人口の増大”を実現させていく。

②食事処等マップの作成とおみやげ販売箇所の拡充事業

●おみやげ品の販売や郷土料理を提供する店舗の拡充を図るとともに、観光客にもわかりやすいおみやげ品・食事処マップの作成・配布を行い、おみやげ品などの販売促進につなげ、地域経済の活性化を図っていく。

③天草キリシタン館の整備・活用

●天草キリシタン館を活用した観光振興を図るため、天草キリシタン館を中心に、市内に点在するキリシタン関連資料館と各種観光資源

を組み合わせた観光ルートを開発するとともに、キリシタン資料、歴史、文化と信仰、くらしをわかりやすく掲載したパンフレットを作成する。

④天草ジオパーク構想の推進

●天草全域に点在する化石や現象がよくわかる地質遺産（自然公園として）を積極的に活用するとともに、日本ジオパークネットワークに認定された「天草御所浦ジオパーク」の魅力を県内外に周知していく。

⑤ヘルスツーリズムの推進

●健康をテーマとした、新しい観光システム（形態）としてメディカルツーリズム（観光＋人間ドックなど）やヘルスツーリズム（温泉や食事を組み合わせた、健康プログラムの活用）を構築する。なお、“ヘルスツーリズム”などの実現によって、天草観光の付加価値を高めるとともに、医療と観光が産業として結び付けられることで、新産業の創出を図る。

3 国内外に通用する“天草ブランド”づくり

①新幹線車内での天草謹製の販売検討

●九州新幹線を活用した“天草謹製”などの天草の特産品の販売ルート拡充策として、新幹線車内販売をJR九州・西日本に要望する。
※天草謹製＝平成18年に天草の新しいおみやげ

ブランドとして、天草ルネッサンス「天草謹製認定委員会」（本渡商工会議所内）が天草の食材を使い、天草で作った“こだわり”の商品の認定に取り組んでいる。現在、天草地域の16品が認定されている。

“おもてなし”のスキル向上と さまざまな取り組みによる経済効果を

（社）天草宝島観光協会 会長 池田正三郎



九州新幹線が全線開業し期待するものは、「天草の香りをいかに醸し出すことができるか」ということです。新幹線を利用したときに、二次アクセスとして頭の中に浮かぶのが、JR三角線を利用し天草宝島ラインで本渡港へ、また、新出水駅から牛深へ、片道は長崎・島原半島との連携や、天草エアライン・バス路線との組み合わせなどが考えられます。

新幹線開業によって移動手段の選択肢が広がるということが、一番の楽しみであるという気がいたします。新幹線効果で私が一番だと思っ

ているのが、県民・市民の皆さんが、ふるさと熊本・天草に観光地としての誇りを持って、一人ひとりの“おもてなし”のスキルが向上することだと思います。

九州新幹線全線開業に伴う県全体での経済効果は、約220億円と見込まれておりますが、天草地域でもさまざまな取り組みを行い観光客を増加させ、一次産業、二次産業への波及効果を含め、地域経済の活性化につなげてまいりたいと考えております。

4 また来たくなる人情あふれるおもてなし

①おもてなし研修会の開催

●地域のおもてなし力向上のための研修として、地域住民を対象とした懇談会「地域活性化もやい会議（仮称）」を開催する。

②天草観光タクシー優良ドライバー認定試験

●交流客が最初に接することになるタクシードライバーを、天草の魅力を最大限にいかし、旅の演出を行うコーディネーターとして育成するため、県内初の「天草観光タクシー優良ドライバー」認定試験事業を実施。

5 九州域外へのアピールを念頭に置いたイベント開発

①“天草海道博”の開催

●天草の認知度を高め、島の魅力を全国に向けて発進するためには、各種メディアにも取り上げられるような、強力な取り組みが必要となる。そこで、天草島内全域をパビリオンと見立てたノンパビリオン型の博覧会形式イベント“天草海道博”を開催する。“天草海道博”は、地域の皆さんといっしょになって磨き上げた地域資源を活用する、ソフト中心のイベント

として実施。

②牛深ハイヤ祭り第40回記念事業

●牛深ハイヤ祭りは、平成23年4月に40回目の節目を迎える。そこで、第40回を「目指せ！総踊り参加10,000人」と位置づけた記念イベントとして実施し、踊りの参加者や観光客などの交流人口を倍増させ、第40回を機に牛深ハイヤ祭りをさらににぎわいのあるものとし、地域の活性化に波及させていく。



御所浦町での“化石発掘体験”

天草キリシタン館

イルカウォッチング

天草西海岸の夕日

40回を迎える“牛深ハイヤ祭り”

【問い合わせ先】本庁・地域振興課 ☎ 1111内線1320

行政改革の取り組み状況

～平成21年度までの成果と今後の計画～

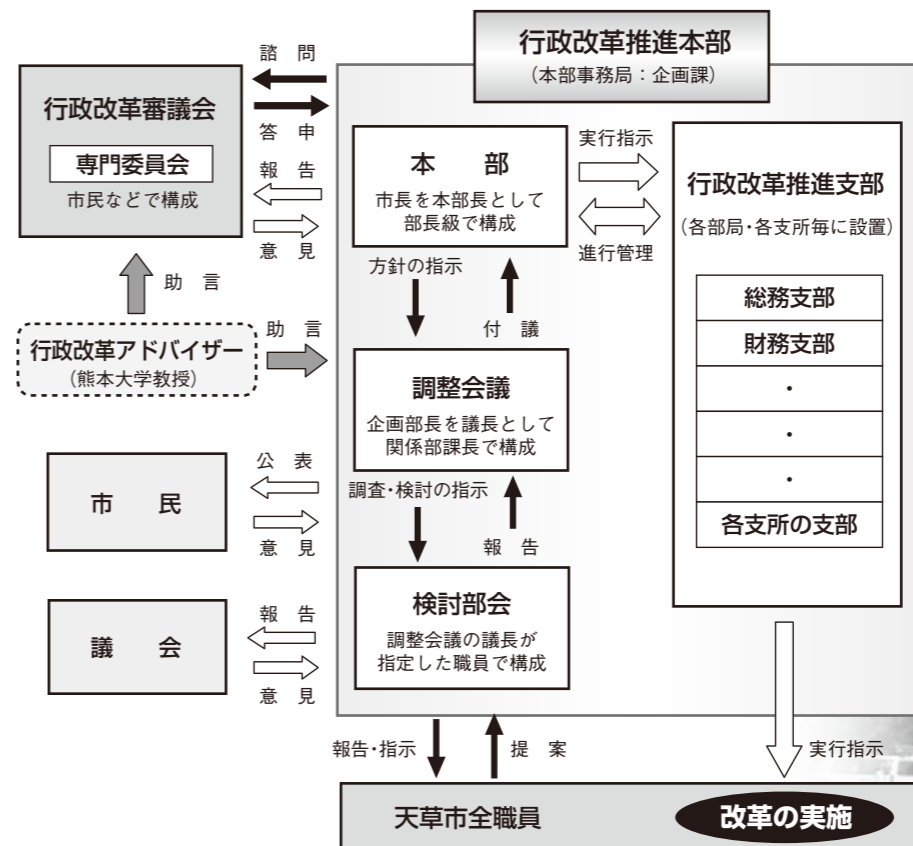
市では、「10年後の天草市を見据えた持続可能な行政運営の確立」を旨として、平成18年度から同22年度までの5年間を推進期間とする「第1次天草市行政改革大綱」を策定し、市民との協働による行政運営の推進など3つの基本方針を柱として、31の実施(推進)項目について行政改革に取り組んでいます。今回は、平成21年度までの取り組みの内容・成果や今後の計画についてお知らせします。

行政改革の進め方

行政改革を進めるにあたっては、公共サービスの民間委託・民営化や職員定員の適正化など31の実施(推進)項目について、所管部署ごとに取り組みを進めています。

この実施項目の取り組みの内容は、計画↓実行↓評価↓改善のサイクルに基づき、所管部署での実績把握(自己評価)、市長を本部長とする天草市行政改革推進本部での進捗管理(内部評価)、天草市行政改革審議会での審議(外部評価)を行った後、同審議会などで出された意見などを踏まえて、必要に応じて見直し(総括)を行いながら、行政改革を進めていきます。

◆天草市行政改革推進体制図



平成21年度までの取り組みの成果

第1次行政改革大綱4年目となった平成21年度は、これまでに制定した制度の運用をはじめ、行政運営の健全化に向け、職員定員の適正化や民間委託などの推進、市税等の収納率向上などに取り組みました。その結果、同18年度からの累計で14億8,779万6千



▲7月9日に開かれた行政改革審議会

円の歳入を確保。歳出においても32億9,603万8千円を削減することができました。なお、平成21年度における基本項目ごとの主な取り組み内容は次のとおりです。

1 市民との協働による行政運営の推進

市民活動団体を支援するため、NPOの活動に興味がある地域やグループを対象としたNPOセミナーを開催しました。また、政策形成における市民参画を促す手段として取り組んでいるパブリックコメントについては、3件の手続きに対して275件のご意見をいただきました。さらに、行政情報をわかりやすく提供するため、平成19年度から実施している出前講座を、同21年度は41回開催しています。



▲下田温泉ふれあい館ぶらっと

2 経営感覚を取り入れた行政運営の確立

財政健全化計画にのっとりた財政運営に努めており、市税などの各種使用料の徴収率向上や、市有財産の利活用・売却などの自主財源の確保に向けた取り組みについては、大綱の目標値を大きく上回る実績をあげました。

また、病院事業についても、平成22年度から地方公営企業法の全

用語の説明

- ※1 NPO: Non-profit Organization (ノン・プロフィット・オーガニゼーション) という言葉の頭文字を表した言葉で、「非営利組織」と直訳され、営利を目的としない組織のこと。
- ※2 パブリックコメント: 市が重要な施策などを立案するときに、その案と関連資料などを広く市民に公表し、そのことについて意見を募ることも、出された意見を案にかせるかどうかを検討し、その結果と市の考え方を公表する制度。
- ※3 アウトソーシング推進計画: 行政の業務を外部に委託したり、民営化したりするための計画。
- ※4 財政健全化計画: 財政運営の基本方針や財政の健全化に向けた取り組み、中・長期の歳入・歳出の見込額などをまとめた計画。これをもとに今後の財政運営を行う。

◆平成21年度までの行政改革による効果額

項目		平成22年度までの目標	平成21年度の実績
歳入確保	①市税等徴収	市税など徴収対策の充実による効果額… 3,400万円	市税等徴収：2億4,669万4千円 保育所保育料：△26万円 市営住宅使用料：1,161万9千円 水道・簡水・下水道使用料：6,175万3千円 普通財産貸付料：139万円 累計効果額：10億4,687万6千円
	②市有財産の利活用や売却	市有財産の利活用促進や売却による収入額… 2億円	市有財産売却額：6,112万9千円 市有財産貸付料：3,603万1千円 累計効果額：4億3,467万5千円
	③新たな収入源の開拓	広告等収入額… 600万円	広報紙・ホームページ：30万5千円 広告封筒：360万4千円 累計効果額：624万5千円
歳出削減	④民間委託等の推進	ごみ収集、学校給食調理、学校主事、保育所に従事していた職員の退職後の業務を民間委託などで行った時の削減累計額… 6億7,500万円	平成21年度効果額：1億9,950万円 削減累計額：3億3,530万円
	⑤職員定員の適正化	職員削減による人件費削減累計額… 29億8,200万円（窓口業務の効率化や民間委託などの推進による人件費削減額除く）	平成21年度効果額：8億6,800万円 削減累計額：21億8,400万円
	⑥給与制度の見直し	特殊勤務・住居・通勤・管理職手当の改正による削減累計額… 1億4,800万円	管理職手当の見直し：1,260万円 特殊勤務手当：64万2千円 削減累計額：3,961万円
	⑦物件費の抑制	物件費の削減累計額… 6億3,600万円	平成21年度効果額：3億803万7千円 削減累計額：7億3,712万8千円

※市税等徴収に掲げている目標値には、市税の徴収対策に係る効果額のみを設定していますが、実績値には保育料などの徴収対策による効果額も計上しています。

※平成21年度の実績欄の累計効果額と削減累計額については、平成18年度から同21年度の累計。

◆平成21年度までの取り組みに対する評価

実施項目	最終年度の目標に対する達成度の評価		実施項目	最終年度の目標に対する達成度の評価	
	推進本部	審議会		推進本部	審議会
市民活動団体の支援	B	B	補助金・負担金の見直し	C	C
自立した地域づくりの促進	B	B	物件費の抑制	A	A
政策形成における市民参画	B	B	第三セクターの経営健全化	C	C
男女共同参画の推進	C	C	特別会計・水道企業会計の経営健全化	C	C
分かりやすい行政情報の提供	B	B	病院事業のあり方の検討	A	B
インターネット技術を活用した情報提供	B	B	行政評価システムの構築	C	C
民間委託などの推進	B	B	イベントなどへの行政のかかわり方の見直し	C	C
公の施設の管理運営の見直し	C	C	入札・契約方法の見直し	C	C
効率的・機能的な組織機構の見直し	C	C	天草広域連合のあり方の見直し	C	C
財政運営の健全化	C	C	情報化による行政事務の効率化と住民サービスの向上	B	B
職員定員の適正化	C	C	職員の意識改革	B	B
市税・各種使用料などの徴収率の向上や課税の適正化	A	B	職員の能力向上	B	B
公の施設の使用料の見直し	C	C	適正な人事配置	B	B
市有財産の利活用または売却	A	A	人事評価システムの構築	B	B
新たな収入源の開拓	A	A	職員提案による行政サービスの改善	C	C
給与制度の見直し	C	C			

【達成度の分類】 A…おおむね目標を達成したもの B…事業に着手し成果が得られているもの C…計画を策定し事業に着手しているが成果が得られていないもの D…未着手または計画の検討段階。



▲天草西保健福祉センター内(河浦町)に設置された病院事業部

部適用となり、今後は病院改革プランに基づいた改革を推進していくこととなります。

一方、定員適正化計画に基づいた職員数の削減については、目標としていた同22年度の普通会計職員1,000人体制には53人到達することができませんでした。しかし、職員の総数では、5年間で220人が削減されたことで、同22年度までの目標であった1,347人を達成することができています。

このほか、補助金・負担金などに見直しや行政評価システムの構築

職員研修実施計画に基づき、職員の意識改革を旨とした接遇研修を実施したほか、国や県などへの派遣研修や市町村アカデミー、自治大学校研修などを積極的に実施し、職員の専門的な知識、技術の習得に取り組みました。

行政改革大綱の進行状況の詳しい内容を記載した資料を、本庁・企画課や各支所・総務振興課、各出張所に備え付けていますのでご覧ください。

また、市のホームページでもご覧いただけます。

3 質の高い職員による行政運営の確立

築、イベント等への行政のかかわり方の見直し、第三セクターの経営健全化などの事務事業の整理合理化に向けた取り組みについては、改革には着手してはいるものの成果が得られていない項目もあることから、今後も課題などを整理し、事務事業の合理的な実施に向けて取り組んでいくこととしています。



▲同審議会の中川竹治会長(右)に諮問書を渡す古田副市長

※詳しいことは、本庁・企画課行政改革係 ☎11111(内線1322)へお尋ねください。

第1次天草市行政改革大綱の推進期間が平成22年度で終了します。市では、今後もさらなる行政改革に取り組むこととしており、8月11日に開催した行政改革審議会において、平成23年度から同26年度までを推進期間とする次期行政改革大綱の策定について諮問しました。

次期行政改革大綱の策定

※5 病院改革プラン：総務省から示された公立病院改革ガイドラインを踏まえ、平成20年度に策定した病院事業経営の改革に、総合的に取り組むための基本方針を定めた計画。

※6 定員適正化計画：事務事業を効果的・効率的に処理するために、部門別・職種別の適正な職員数の決定と配置による定員管理を行い、全体として定員を抑制するために策定した計画。

※7 普通会計職員：水道・病院の企業会計事務や、国民健康保険・介護保険等の特別会計事務に従事する職員以外の一般会計などの職員。

※8 行政評価システム：市が実施する政策や施策、事務事業について必要性や成果を客観的に判定し、結果を数値などで市民の皆さんに示すとともに、計画策定・予算執行・事務事業の見直しなどに反映させていく仕組み。



10月1日は 国勢調査

10月1日に国勢調査を実施します。市では、「国勢調査天草市実施本部（本部長・古田副市長）」を設置し、同調査を適正に行うための準備を進めています。

市民の皆さんが記入した調査票が、住みよいまちづくりのための基礎となることをご理解いただき、調査票の記入・提出へのご協力をお願いします。



看板を設置する古田副市長

国勢調査って何？

国勢調査は、統計法により5年ごとに実施することが定められており、ふだん日本に住んでいるすべての人と世帯を対象にした、国の最も重要な統計調査です。今回の調査は、日本が本格的な人口減少社会となって最初の調査であり、日本の将来を考えるために欠くことのできないデータを得ることができると考えられています。また、本市においても、合併前と合併後の人口や就業人口などの推移がわかるため、きわめて重要な調査になります。

どうして国勢調査を行う必要があるの？

国勢調査は、そのときの社会を映し出す鏡としての役割を持っています。現在の社会状況を的確に把握することで、過去のデータと比較しながら、人口の将来の見通しや少子高齢化の予測を行うことができ、行政や研究機関などがいろいろな施策や計画を立てるときの判断材料として、必要不可欠なものです。

調査結果はどのようなことにかされるの？



住みよいまちづくりのために



少子高齢社会に対応した政策のために



防災計画の策定のために

調査の流れ

①調査員が訪問

9月下旬ごろから、「国勢調査員証」や「腕章」などを携行した調査員が各世帯に直接訪問し、調査票を配布します。



②調査票への記入

「氏名、男女の別」や「出生の年月」など、世帯員に関する事項15項目、世帯に関する事項5項目について記入してください。



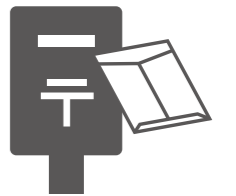
③調査票の提出

次のいずれかの方法から選んで提出してください。

❶ 封筒に調査票を入れ、のりづけをして調査員に直接手渡す。



❷ 郵送提出用封筒に調査票を入れ、裏面に住所・氏名を記入して郵送する（切手不要）。



個人情報の保護に万全の対策で取り組みます！

- 調査員への守秘義務の徹底（調査で知ったことは、絶対にほかの人に話さない・調査票が入っている封筒は絶対開けない）。
- 調査票や調査データの厳重管理。
- 記入内容の統計目的以外への使用禁止。
- 調査票は、集計後に溶解処理を行い再生紙として利用。

国勢調査コールセンター・国勢調査e-ガイドもご利用ください

■国勢調査コールセンター

☎0570-01-2010（通話料は自己負担）。

▶ 期 間：9月11日④から10月31日⑤まで（土・日曜日、祝日も利用可）。

▶ 時 間：午前8時から午後9時まで。

■国勢調査e-ガイド

[ホームページアドレス] <http://www.stat.go.jp/data/kokusei/2010/kouhou/index.htm>

国勢調査員を装った『かたり調査』にご注意！！

過去の調査において、国勢調査員を装い氏名や生年月日、銀行などの口座番号を聞き出そうとする行為が起きており、市内でも代理で記入する代わりに金銭を要求するという事例が発生しています。

調査員は「国勢調査員証」を身につけていますので、必ず確認するようにしましょう。また、不審に思ったときは、本庁・企画課または各支所・総務振興課へお問い合わせください。

【問い合わせ先】 国勢調査天草市実施本部（本庁・企画課統計調査係内）☎②1111内線1312



▲ハイヤ大賞（総合1位）に輝いた
“苓明高校郷土芸能部”

8/7 天草ハイヤ道中縦踊り



31チーム・
約2,500人が
参加。



8/8 花火大会

約10,000発の花火が夏の夜空を彩りました。



▲山車大賞は“ホテルアレグリアガーデンズ天草”



沿道には多くの観客が詰めかけました。



天草ほんど ハイヤ祭り

45th Anniversary 2010

天草の夏の一大イベント「天草ほんどハイヤ祭り」を写真で振り返ります。

7/31 天草子ハイヤ



▲元気いっぱいの踊りを披露！

8/1 踊りの競演



▲天草市民センターホールで、11団体が踊りの競演！

わだいの



▲ボールに追いつがる児童



▲“竹馬サッカー”のようす

ロアッソ熊本サッカー教室 本渡

ロアッソ熊本がやってきた！！

7月27日、佐伊津小学校で「サッカー」2・ロアッソ熊本サッカー教室が開かれ、同校の児童102人が参加しました。これは、ロアッソ熊本のスポンサー企業が開催したもの。教室では、同チームアカデミーセンターのコーチ5人が、ドリブルやシュートなどの指導を行ったほか、ミニゲームを実施。子どもたちは、夏の日ざしを浴びながら、熱心にボールを追いかけていました。その後、子どもとコーチらは、竹馬に乗りながらサッカーをする“竹馬サッカー”で対戦。コーチらは、ふだんとは勝手が違うサッカーに悪戦苦闘する一方、子どもたちは器用に竹馬を乗りこなしながら次々とゴールを決め、会場を沸かせていました。

すもと夏祭り 栖本

帰省客などで大にぎわい！

8月13日、「すもと夏祭り」が栖本福祉会館駐車場に設けられた特設会場で開かれ、家族連れやお盆の帰省客などでにぎわいました。祭りでは、大道芸ショーやダンスの披露、ストラックアウトなどのゲームのほか、ラムネ・ピールの早飲み競争を実施。また、中学生以下を対象にしたエビのつかみ取りには多くの子どもが参加し、生きのいい車エビを必死になって捕まえていました。このほか、祭りを締めくくる花火が打ち上げられ、訪れた約600人の観客を魅了しました。



▲エビのつかみ取りをする子どもたち



▲消火栓を使い放水を行う子どもたち

浦地区防災訓練 倉岳

いざというときに備えて

7月25日、浦公民館で「浦地区防災訓練」が行われ、地区住民約200人が参加しました。これは同地区振興会が、災害時に備えて各自主防災組織や消防団、災害時要援護者などとの連携を図ることを目的に、初めて開催したもの。訓練では、消火栓の取り扱いや消火器を使った初期消火のほか、AEDの操作、炊き出し訓練などを実施。消火栓訓練に参加した倉岳小学校2年の端迫駿汰君は、「水が出たときは重かったけど、とても楽しかった」と話していました。

一町田虫追い祭りイベント 河浦

空にたなびく五色の旗

7月18日、一町田小学校のグラウンドで「一町田虫追い祭りイベント」が行われました。これは、一町田地区振興会が、毎年7月の第3日曜日に開かれている伝統行事“虫追い祭り”にあわせて開催しているもの。催しでは、赤・紫・黄・白・水色の旗をつけた高さ15メートルの旗さおを、どれだけ長く持ち上げることができるかを競う競技や、肩や頭にのせる演技などを実施。また、今回は新たにポニーの乗馬体験や旗さおを持って20メートルを歩く競技も行われ、会場は大いに盛り上がりました。

▶青空にはためく虫追い旗



▲虫追い旗をイメージした飾りをつけたポニーに乗る子ども



▲平和の祈りコンサートのようす

御領平和祈念祭 五和

地域で平和の尊さを考える

8月9日、「御領平和祈念祭」が御領地区招魂場で開かれ、地区住民など約100人が参加しました。これは、地域で平和の尊さを考える機会を作ろうと、長崎に原爆が投下された日にあわせて御領まちづくり振興会が実施しているもので、今年で3回目。催しでは、会場が手作りの竹灯ろう約150本で彩られる中、御領小学校の児童による作文の朗読のほか、地元合唱団などが平和の祈りコンサートを実施。また、平和に関する習字の作品や短歌・俳句も展示され、参加者は平和の尊さを再認識していました。

日本海洋少年団南九州地区大会 牛深

りっぱな海の子を目ざして！

7月30日から8月1日まで、「第20回日本海洋少年団南九州地区大会」が牛深町の茂串地区で開かれ、同団に所属する子どもなど38人が参加しました。この大会は、海への関心を高めるとともに、少年少女の育成を図ることなどを目的に開催したもの。天草海上保安署の巡視艇あそぎりで体験航海のほか、手旗競技や結索（ロープ）競技を実施。また、水泳競技では、ほとんど泳げなかった団員が、最後には25メートルを泳げるようになるなど、ひとまわり成長した子どもたちの姿が見られました。



▲結索競技に真剣に取り組む団員

市長と語ろう“市政懇談会”

協働のまちづくりへの意見交換

8月4日、「市長と語ろう“市政懇談会”」が、天草町の高浜公民館で行われ74人が参加しました。これは、市民と行政の協働によるまちづくりをさらに推進するため、直接市民の皆さんのご意見などを聞くことを目的に、市内10カ所で開催するものです。同懇談会では、安田市長が市の取り組みなどについて講演した後、市民の皆さんから「西海岸の観光資源をいかしてもらいたい」「地区振興会の助成はどうなっているのか」などの意見がありました。



▲熱心に安田市長の講演を聞く参加者

ホタルを通じた交流

有明

ホタルが乱舞する日を夢見て

7月18日、島子小学校の3年生16人が御所浦町の嵐口地区を訪れ、ホタルを通じた交流を行いました。これは、同校と御所浦町のまちづくり団体が、同地区内では見られなくなったホタルを復活させようと開催しているもので、今回で7回目。この日は、同校の児童がホタルの生態や育つ環境、飼育したようすなどを絵に描いて発表。その後、ホタルが乱舞する光景を夢見て、同地区のふれあい交流広場の小川に約3,700匹のホタルの幼虫を放流しました。



▲ホタルの幼虫はどんな形をしているのかな？



▲マジックを披露する大友さん(左)

読書フェスティバル

絵本と音楽とマジックで参加者を魅了

7月25日、「国民読書年記念・天草市読書フェスティバル」が天草市民センター展示ホールで開かれ、親子連れなど約350人が参加しました。イベントでは、御領小学校の児童による寸劇の発表のほか、絵本作家・長谷川義史さん(大阪府)とピアノ奏者・マジシャンの大友剛さん(東京都)を招いて講演会を開催。長谷川さんの絵本の朗読をはじめ、大友さんのマジックショーやピアノの演奏など多彩な催しに、参加者は魅了されていました。

天草市総合防災訓練

“いざ”というときのために

7月25日、「天草市総合防災訓練」を天草町の天草総合運動公園グラウンドなどで実施し、市消防団員や消防署員、自衛隊員、地域住民など約450人が参加。訓練では、天草市西部に土砂災害警戒情報が発令され、同町では地すべりが発生し家屋の損壊により、多数の人的被害が発生したとの想定で災害対策本部を設置。地元住民による初期消火訓練、水防工法訓練や孤立大型観光バス乗客救助訓練など本番さながらの訓練に、参加者は真剣に取り組んでいました。



▲「改良積み土のう工法」を実施する消防団員

南阿蘇村の両併小学校が来訪

御所浦

海と山とのミニ交流会！

8月2日から同5日まで、阿蘇郡南阿蘇村の両併小学校の4・5年生8人が御所浦町を訪れました。これは同校が、平成20年と同21年に実施した国の「子ども農山漁村交流プロジェクト」での交流や体験をきっかけとして、今年もぜひ来訪したいとの要望で実現したもので、同2日には、御所浦小学校に通う大浦地区の児童8人との交流会を開催し、自己紹介やゲームをしたり両校の校歌を披露しあうなど、楽しい夏のひとときを過ごしていました。



▲いっしょになってゲームを楽しむ子どもたち



▲楽しいトークを繰り広げる本田さん(左)、中川さん(中央)、gajuさん(右)

「ESOPO」造形絵本の世界展

絵本の世界を間近で堪能

7月21日から8月29日まで、本市出身の造形作家gajuさんによる「ESOPO」造形絵本の世界展が河浦町の天草コレジヨ館で開催されました。期間中は、絵本に登場する人形など約50点を展示。また、同8日には記念イベントが開かれ、子どもを対象にした写真ボード作りなどのほか、絵本の製作を担当した本市出身の中川哲子さんとgajuさん、司会に熊本放送の本田史郎さんを招いてトークショーを実施。約100人の来場者は、熱心に耳を傾けていました。



▲交通安全を呼びかける団員たち

交通安全キャンペーン

天草

安全運転をお願いします！

7月21日、福連木小学校の“緑の少年団”による「交通安全キャンペーン」が、福連木地区内の県道24号線沿いで行われ、同団員のほか警察、交通安全協会、福連木里づくり振興会から50人が参加しました。これは、交通量が増加する夏休み期間中に、交通事故防止と安全意識の向上を図ろうと毎年実施しているもの。本渡方面に向かう車50台に、手作りのパンフレットや樫の木で作った炭を手渡ししながら、元気な声で安全運転を呼びかけていました。



▲成人者宣言をする
大笹さん

真夏の新成人の誓い

～牛深地域成人式～

8月16日、「牛深地域成人式」が牛深総合センターで開かれ、新成人157人が出席しました。同地域では毎年、お盆の帰省時期に成人式を開催しており、女性の新成人は浴衣で参加する姿が見られます。

式典では、安田市長が「新しいまちづくりのリーダーとして若い力を発揮してくれることを期待します」と激励し、その後、新成人を代表して大笹剛史さんが「社会人としての責任を胸に、勇気と信念を持って行動することを誓います」と宣誓しました。式典終了後は、友人と話しをしたり記念撮影をするなど、久しぶりの再会を楽しんでいました。



▶浴衣姿で参加する新成人

7月25日
砂月海水浴場祭り
(牛深)



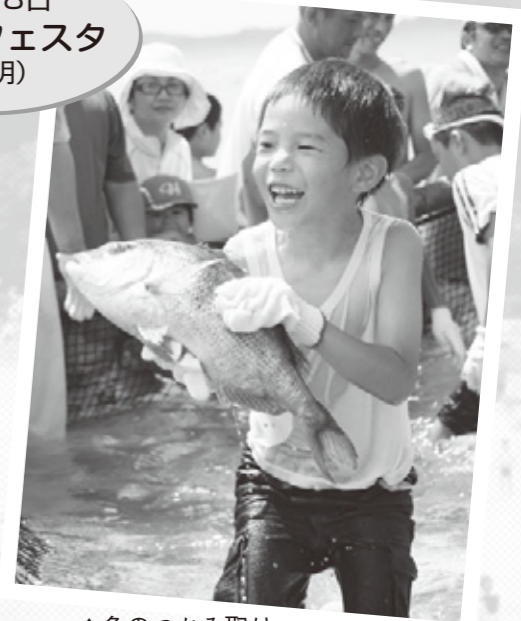
▲コーラの早飲み競争

7月19日
海べたエコエコウォーク
(五和)



▲浜辺での竹炭作り“うまくできたかな？”

7月18日
さざ波フェスタ
(有明)



▲魚のつかみ取り
“大物をつかまえたぞ!!”

8月14日
ペーロン乗船体験
(五和)



▲水しぶきをあげながら
舟をこぐ参加者

7月31日
教会の見える崎津みなとの
フェスティバル
(河浦)



▲富津小学校の児童による太鼓の披露

8月7日
二江ん漁師の
ビアガーデン
(五和)



◀新鮮な魚介類が
盛りだくさん!!



◀天草海上保安署の巡視艇
あそぎりの体験乗船

7月18日
海の日フェスティバル海族祭
(牛深)

夏 楽しかった の思い出

今年も暑かった夏。市内各地では、夏を満喫できるさまざまなイベントが開かれ、多くの人が天草の夏を満喫しました。そこで今号では、市内各地で開催された夏のイベントのようすを写真で振り返ります。このほか、アメリカ合衆国・エンシニタス市での姉妹都市交流、牛深地域成人式のようすを紹介します。

異国の文化や風土の違いを体験

～市内の中学生がエンシニタス市を訪問～

7月23日から同31日まで、市内の中学生6人と英語教諭が、姉妹都市のアメリカ合衆国・エンシニタス市に派遣されました。今回派遣されたのは、2年の浦田晴佳さん(牛深)、濱本夏綺さん(本渡)、3年の金子大輝さん(本渡東)、鬼海伽美さん(天草)、村井水貴さん(御所浦)、山川千咲さん(稜南)と石橋令菜教諭(本渡)。期間中、交流団一行はホストファミリー宅にそれぞれ滞在し交流を深めながら、市内の名所などを散策。異国の文化や風土の違いを体験しました。濱本さんは、「現地の人たちのおかげで、かけがえのない友だちができました。今回の体験をいかして、天草の発展のためにお手伝いができるようがんばりたいです」と話していました。



▲折り紙作りなどで交流するようす



◀ホストファミリーの皆さんなどと
記念撮影

夢は叶う

天草工業高校（亀場町）
2年 久保光由

天草工業高校では、体育系、文化系などさまざまな部活動ががんばっています。中でも陸上競技部は、インターハイのリレー種目に学校として初めて出場しました。決まった瞬間は「まさか自分たちが」という思いでした。沖縄で行われたインターハイでは、4人でバトンを継ぎ、悔いのない走りをする事ができました。

選手全員が天草地区の中学校出身で、中学時代からライバルどうしの関係であり、切磋琢磨してこれまでがんばってきました。「天草工業高校で陸上をして良かった」と本当に思います。天草地区の高校でもがんばれば“夢”を叶えることができます。



▲左から3年の浦部幸二さん、松本拓也さん、池本淳司さん、2年の久保光由さん

ぼくのわたしの学校部活自慢



▲練習に励む部員たち

剣道で学んだことをいかしたい

栖本中学校（栖本町）
3年 井立周作

栖本中学校剣道部は、郡市中体連3連覇を目標にして、日々練習に励んできました。暑い中の練習で集中力が切れやすい時期でしたが、きつい練習にも必死にくりつていきました。キャプテンとして引っ張っていくのはとても大変でしたが、監督、コーチをはじめ、青志会やOBの先生方のご指導の下、目標の中体連3連覇を達成することができました。来年は、4連覇を目標に1・2年生たちにはがんばってほしいと思います。3年生は試合が終わりましたが、剣道をしていて礼儀をはじめ、さまざまなことが身についたと思います。今後、剣道を通して学んだことを、学校生活や社会でいかしていきたいです。

地域づくり
コーナー

人が動く
地域が動く
天草が動く

倉岳の味を出郷者に届ける
「ふるさと家族便」への取り組み

倉岳まちづくり協議会（会長 高田 護）

平成21年度に地域住民が主体となって作成した地区振興計画。倉岳町内の3地区振興会すべてに新しく盛り込まれたのが、「ふるさと家族便」への取り組みです。

来年度には倉岳町版の「ふるさと家族便」がスタートして、昔懐かしい故郷の味として出郷者などに喜ばれ、将来的には地域活性化の事業として定着してくれればと願っています。



▲検討委員会のようす

平成21年度に地域住民が主体となって作成した地区振興計画。倉岳町内の3地区振興会すべてに新しく盛り込まれたのが、「ふるさと家族便」への取り組みです。平成21年度に地域住民が主体となって作成した地区振興計画。倉岳町内の3地区振興会すべてに新しく盛り込まれたのが、「ふるさと家族便」への取り組みです。

宝島の健康
よさげ屋

藤川フイノさん
（新和町小宮地・79歳）



◆毎日の楽しみは？

ゲートボールとグラウンドゴルフが楽しみです。練習のときには、友だちと世間話をしたりしています。地域の人たちとのふれあいを大事にしながら、毎日を楽しんで過ごしています。

◆健康の秘けつは？

日々の食生活に気をつけていて、油っこいものはあまりとらないようにしています。また、自分の畑で無農薬の安全な野菜を作っていますが、体を動かすことにより足腰の鍛錬にも役立っています。



森田裕幸さん（河浦町今富・21歳）

剣道で地域貢献できればと思い、河浦中学校剣道部の指導をしています。団体出場ぎりぎりの5人の部員しかいませんが、今年は個人戦で県中体連出場を決めた生徒もいて、とてもうれしく思っています。これからも、中学生にがんばることのすばらしさを教えていきたいです。

地域との交流をめざして

清涼保育園（五和町）

清涼保育園（上杉タツ子園長・全園児23人）は、お寺の境内の大きな木々に囲まれた環境の中で、園児が元気いっぱいに遊んでいます。先日、「夕涼み会」を実施しました。小学生を招待し、中学生にはお店屋さんごっこに入ってもらい交流を深めました。絵本の読み聞かせの人にブレイメンの音楽隊の劇を演じていただき、みんな大喜びでした。また、フリーマーケットもあり、父母や祖父母、地域の人たちの参加のもと、大盛況にて終了しました。これから町民・小学校・保育園の合同運動会もあります。いろいろと体験する中で、人とのふれあいを大切に、明るく思いやりのある子どもに育てて欲しいと願っています。



地域のみなさんと交流を深めました

このゆびとつまみ



プールが大好きな、さくら・まつ・たけ組の子どもたち

“人生の幹”をはぐくむために

あまつけ保育園（牛深町）

あまつけ保育園（吉川英之園長・全園児27人）は、子どもたちが明るく健やかな心に成長することを目標に、現在はプール遊びなどで毎日楽しく過ごしています。子どもが成長し、おとなになってからもいかなるような“人生の幹”をはぐくんでいこうと、茶道などを通して礼儀作法や団体行動を行いながら人格形成をめざす保育に取り組んでいます。

どんな子どもでもすばらしい可能性を秘めています。その可能性は、自分の心を育てることでは発見できません。心を育てることは自分の意志を育てることです。子どもたちが、人生をどのように創造していくのか、これから楽しみです。



